

## 令和3年度熊本県中学校総合体育大会 ソフトテニス競技

### 新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン

本ガイドラインは、下記ガイドライン等を踏まえて作成しています。今後の知見の集積及び新型コロナウイルスの感染状況により、随時見直すことがあり得ます。場合によっては県中体連本部より制限（無観客）をかける可能性があることにご留意下さい。

- ・「学校の新しい生活様式（2020.12.3 Ver.5）」文部科学省
- ・「社会体育施設の再開に向けた感染拡大予防ガイドライン（令和2年9月29日改訂）」スポーツ庁
- ・「スポーツイベントの再開に向けた感染拡大予防ガイドライン（令和2年10月2日改訂）」  
日本スポーツ協会・日本障がい者スポーツ協会
- ・「九州ソフトテニス連盟」および「熊本県ソフトテニス連盟」感染拡大予防ガイドライン
- ・「令和2年度（公財）日本中学校体育連盟 全国中学校体育大会実施上の COVID-19 感染拡大予防ガイドライン」（公財）日本中学校体育連盟

#### I 参加者（選手・指導者および応援者も含む会場来場者の全て）に関する事

- ① 参加者は「選手・当日ベンチに入る監督およびコーチ・校長（副校長・教頭）のいずれか一人・保護者（各家庭2名以内：ただし今後の感染状況で変更があり得る）」とする。
- ② 会場（駐車場・選手控え場所等も含む 以下同様）への入場を認めるのは、出場選手・校長（副校長・教頭）のいずれか一人・学校が認めている指導者で当日ベンチに入る者のみ・及び出場する選手の家族（各家庭2名以内）とする。選手以外の部員は認めない。
- ③ 大会への出場については令和2年10月30日付け熊本県教育長発出「文部科学省『学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル』による感染症対策の実施について（通知）」（教政第857号、教体第691号）をもとに各学校において判断をすること。
- ④ 発熱や風邪症状、咳・痰・胸部不快感、強いだるさや倦怠感および味覚臭覚を感じない者の参加は認めない。なお、新型コロナウイルスに感染した場合の対応については、保健所等の指示等により各学校長の判断によるものとする。
- ⑤ 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある者は参加を認めない。
- ⑥ 同居家族や身近な知人に感染が疑われている方がいる場合、あるいは14日以内に感染者との接触や濃厚接触者と特定された者は参加を認めない。
- ⑦ 参加する学校は「利用者名簿」および「感染防止対策チェックリスト」を開催日毎に作成し、

受付時（到着時）に提出すること。利用者名簿および感染防止対策チェックリストは「熊本県民総合運動公園 新型コロナウイルス関連情報」で検索し、「施設利用について（大会利用）」の「利用者名簿」「感染防止対策チェックリスト」をDLして使用する。熊本県民総合運動公園を使用しなかった場合についても、同利用者名簿を代替として提出すること。大会参加者に感染が判明した場合、参加者名簿を関係機関に公表する場合がある。※本名簿記載以外の者の会場への立ち入り、および参加観戦は一斉認めない。校長・副校長・教頭来校時も同様とする。

- ⑧ 参加する学校は「参加者」の2週間分の体調を記録した体調記録表（別紙1）を作成し、各学校で保管管理すること。また学校同行者当日体調記録表（別紙2）を開催日毎に作成し、受付時（到着時）に提出すること。大会が順延した場合も同様とする。※本表記載以外の者の会場への立ち入り、および参加観戦は一切認めない。校長・副校長・教頭来校時も同様とする。
- ⑨ 各学校で、参加同意書（別紙4）を校長に提出した者（校長・副校長・教頭・監督・コーチ・選手・各家族2名以内の保護者）のみ参加を認める。校長（副校長・教頭）のうち、入場を認めるのはいずれか一人とする。大会終了後1ヶ月を過ぎるまで学校で保管すること。
- ⑩ 会場では常時、出場選手はゼッケンを着けておく。指導者は「監督」「コーチ」のゼッケンを着けておく。選手の家族および来場校長・副校長・教頭は黄色の紙（縦70mm・横100mm）に学校名のみを大きく書いたものを用意し、胸部に「首掛けIDカード入れ」「ネームプレート」等を利用して着けておく。ゼッケンを着けていない者は会場に入ることはできない。
- ⑪ マスク・消毒用の消毒液及び布・ペーパータオル・消毒後の回収用ゴミ袋を準備すること。
- ⑫ 来場後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者に対して速やかに報告すること。
- ⑬ 会場では監督が、当該校関係者に手洗いまたは手指の消毒を小まめに行うよう指導すること。試合終了時には必ず行うこと。
- ⑭ 会場での待機場所は別に指示する。監督は、集合時、待機中、休憩中及び食事中などにおいて、選手同士の間隔ができるだけ2メートル（最低1メートル）空くように指導する。密集・密接を避けること。感染リスクが高い昼食時は特に細心の注意を監督の責任の元で払うこと。
- ⑮ 会場内において、唾・痰を吐く行為を厳禁とする。ゴミは全て持ち帰ること。弁当がらを業者引き取りにすることも禁止する。
- ⑯ 参加者は原則として試合時間にあわせて来場し、試合終了後は速やかに帰宅する。場所取り等での入場は固く禁止する。試合後の解散式等も会場では一切行わない。
- ⑰ 感染拡大防止のために、参加者が遵守すべき事項に協力を得られない場合、他の参加者の安全を確保する等の観点から、大会への参加を取り消したり、途中退場を求めたりすることがあり得る。
- ⑱ その他、感染拡大につながる行為を一切行わないこと。

## 2 大会および試合に関する事

- ① 開会式は放送で行う。開会式時点で会場到着完了者のみで実施する。
- ② 監督は当該マッチの終了後、使用した審判台、電子ホイッスル、ストップウォッチ、コートベンチ等を持参した消毒液で消毒する。
- ③ 筆記用具及びA4サイズの審判用バインダー等を持参し、審判の際には準備した用具を使用する。
- ④ コートの中での練習および試合中はマスクをはずしてプレーを行うが、それ以外は審判時も含めてマスクを着用する。活動中や気候の状況、および選手の体調等により、熱中症等の健康被害が発生する可能性が高いと判断した場合は、マスクを外すように監督が指導すること。
- ⑤ 監督は、会場の気温や湿度に注意しながら、選手の健康観察を行うとともに、こまめに給水をさせること。
- ⑥ 他者との距離を2m以上確保するよう努力すること。
- ⑦ 会場内において密集・密接する円陣や声だし、肩組・握手・整列を行わないこと。
- ⑧ 試合開始前の挨拶・トスおよび試合後の挨拶はサービスライン上で行う。
- ⑨ 団体戦において、挨拶後の円陣等は禁止する。団体戦・個人戦において、挨拶後の監督・コーチからの指導は一切禁止し、挨拶後はすぐに試合を行うこと。
- ⑩ ハイタッチや試合後の握手、至近距離での大きな声や声かけをせずにプレーすること。
- ⑪ 応援は拍手のみとする。
- ⑫ ラケット・タオル・ウェア・雨具・日傘・コップ・ボトル等の用具・用品のシェアをしないこと。
- ⑬ その他、感染拡大につながる行為を一切行わないこと。